

令和4年度 福岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会

(兼 令和4年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会福岡県予選)

(兼 第75回 全九州高等学校バスケットボール競技大会福岡県予選)

新型コロナウイルス対策ガイドライン(大会運営用)

※ 本ガイドラインは、上記大会実施において留意点等をまとめたものであり本大会の活動に対して拘束力を持つ。

※ 主催者(福岡県高等学校体育連盟バスケットボール専門部:以下、専門部)は、感染対策について以下の項目を遵守する。

◎最も大切にしなければならないことは、バスケットボール活動において『**集団感染(クラスター)・感染拡大を起こさないこと・誹謗中傷を生み出さないこと**』です。

◎バスケットボール活動を行って良いのは「**感染していない者**」が大前提です。健康チェックシートに該当の項目がある場合は、大会への参加・会場への入場を見合わせてください。

1 会場への入場を認める者

- (1) 福岡県高体連バスケットボール専門部・審判員などの役員及び補助役員、来賓等
- (2) 大会参加申込書または大会参加部員名簿に記載された者(引率責任者、コーチ、(外部指導者含む)、A コーチ、トレーナー、学校関係者、部員、マネージャー)
- (3) 福岡県高体連バスケットボール専門部に事前に連絡を行い、入場を許可された者(県協会、報道、審判員等)
- (4) 「観戦来場者」として各チーム顧問からの承認を受け、所定の健康チェック用紙に必要事項を記載し顧問に提出済みの者

※ 入場を認められた者は、3以降の感染対策について遵守する

2 会場に入場させることができる条件

- (1) 「大会参加申込書」「大会参加 部員名簿」に記名があり学校長の許可を得ている生徒
- (2) 「参加承諾書」にて保護者の承諾をもらい、チーム用健康チェックシートの記載に問題がなかった生徒
- (3) 1(4)として各チーム顧問より承認を受け、所定の健康チェックシートを提出し、当日受付で専門部に許可を得た「観戦来場者」
- (4) その他、受付に所定の健康チェックシートを提出し、許可を得た者
(役員、審判、引率責任者、学校関係者、コーチ、A コーチ、トレーナー、報道関係者等)

3 感染対策に関すること

※会場責任者は、以下の項目を遵守すること

- (1) 感染防止のための遵守すべき事項を適切な場所に掲示すること(受付、大会本部、競技場内、更衣室、トイレ等)
- (2) 3の(1)の事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- (3) 参加者及びスタッフのマスク着用(マスクは不織布マスクを推奨する)を徹底すること
(競技中やウォーミングアップ時除く)
マスクを着用していないものには着用を呼びかけ、着用率100%を担保すること
会場には予備のマスクを準備し、万全を期すこと
- (4) こまめな手洗いを呼びかけ、手洗い場には石鹸等を準備し、可能な限り、アルコール消毒液を必要個所に設置すること
(受付、更衣室、トイレ、大会本部等)
- (5) 参加者にマイタオル、マイボトルを準備させ、タオルや水筒の共用をしないように徹底させること

※個人用のカゴを作る等の工夫で、別々に取り扱う意識を高めさせる

- (6) 晴天時は会場内の窓やドアを定期的に開放し、館内換気を徹底すること
雨天時等、開放ができない場合は、ハーフタイム、試合終了ごとに一斉換気を実施すること
- (7) 更衣室、休憩・待機スペースについては、諸室等を活用し、ゆとりを持たせて密になることを避けること
ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する選手の数を制限する等の措置を講じること
- (8) 「握手」「ハイタッチ」「肩を組む」など、競技以外の身体接触を控えさせ、ミーティング等も短時間でを行い、密にならないよう指導すること
- (9) 応援の際はマスクを着用させ、周囲と適切な距離を空けさせること
- (10) 会場内では大きな声での会話や応援等は控えさせること
- (11) 机、椅子、機材等の共有物は、使用したチームに消毒を行わせること
- (12) 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底させること
- (13) 会場等で急に風邪症状の生徒が出た場合は、引率責任者が保護者及び学校管理職に連絡し帰宅させること
その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させること
- (14) スタッフ、参加者、会場来場者は、新型コロナウイルス接触確認アプリ『COCOA』のインストールを推奨すること
- (15) 回収した健康チェックシートは、感染対策を目的とした緊急時の使用に限り、それ以外の目的では使用しない
感染対策責任者が責任を持ち保管し(最低1か月)、必要がなくなった場合シュレッダーでシートを破棄すること
- (16) 審判には原則ホイッスルカバーを着用させる。また、マスク着用の上、電子ホイッスルの使用も可とする。

4 会場設営、使用についての注意事項

(1) 体育館入場口、受付

- 入場口は1か所とし、受付を設ける
- 入場口には手指消毒剤を設置し、入場者に手指消毒を呼びかける
- 受付場所が密にならないよう、距離を置いて並ぶように各チームに呼びかける

(2) 更衣室について

- 高等学校を会場とする場合、1チーム(15名~20名)に1教室程度の広さが望ましい
- 各チーム、更衣室の使用については、エントリーメンバー(15名)、マネージャー(1名)のみとする
- 公共の体育館等を使用の際は、一度に入場する人数の制限や使用時間割の作成を行う等、密を避ける工夫を行う
- 使用後は各チームで、引率責任者監督責任の下、更衣室内共有物の(机、いす、ドアノブ等)消毒を行わせる
大会役員は次チーム使用前に、更衣室内共有物の消毒を行う
- 更衣室内は、常時換気に努めさせる
- 更衣室での飲食等は禁止する。また、ゴミ箱は設置しない(ゴミはすべて持ち帰らせる)

(3) ベンチ、TO席の設置について

- ベンチ、TO席の設営については、できる限り密を避けたレイアウトとする
- 椅子の間隔は、フィジカルディスタンスに配慮する
- TO機器、モップの柄、得点版等の共有物は、ハーフタイム、試合終了後に使用者が消毒を行い、大会役員でチェックを行う

(4) 諸室(役員室、審判控室、待機場所等)

- 大会本部の机、いす等の間隔は、フィジカルディスタンスに配慮する
- 審判控室は、更衣のみの使用とする。長時間の利用は避け、使用後はその都度消毒を行う
- その他諸室においても長時間の利用は行わず、できる限り密を避け使用後は消毒を行う

(5) 手洗い場所、洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒を行う
- 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意する
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
- 手洗いに後手を拭くためのマイタオルを持参させる
- 入場口にはアルコール等の手指消毒剤を用意する

(6) ゴミについて

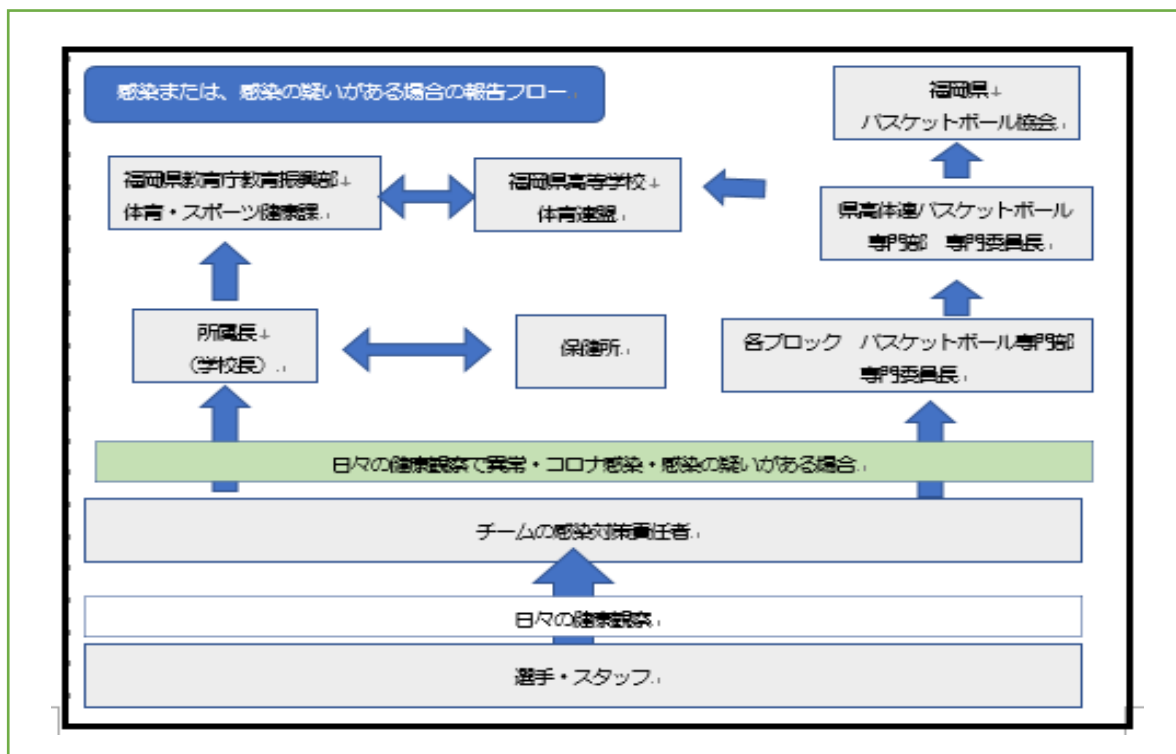
- 会場内にゴミ箱は設置しない
- ゴミはすべて各自で持ち帰らせる
- 万が一出たごみを回収する際は、マスクや手袋を着用する

5 大会の延期・中止、大会規模の縮小について

大会参加者、参加チーム選手スタッフ・運営者・関係者の安全確保を最優先するため、以下の場合において大会を延期もしくは中止、大会規模を縮小して実施することがある

- (1) 国及び福岡県において、「緊急事態宣言」や「自粛要請」等が発出された場合
- (2) 福岡県高等学校体育連盟が、大会の運営及び実施が困難と判断した場合

6. 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応



- チームの「感染対策責任者」から陽性者または感染の疑いがあると報告を受けた際は、上記の報告フローにしたがい速やかに関係部署に報告を行うこと。
- 陽性者、濃厚接触者、体調不良者の定義については「JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会)バスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第4版」を参照のこと